

農村地域防災減災事業

土地改良事業計画概要書（第2回変更）

（ 農業用排水施設 ）

県		名	岩					手
地	区	名	猿ヶ石	北	部	幹	線	市
所	在	地	奥	州				県
事	業	主	岩	手				

目 次

第 1 章	目 的	1
第 2 章	地域の所在及び現況	1
第 1 節	地域の所在	1
第 2 節	現 況	1
第 3 節	水 利 状 況	3
第 4 節	営 農 状 況	3
第 5 節	地域環境の概況	3
第 6 節	道 路 状 況	3
第 3 章	基 本 計 画	4
第 1 節	計画の要旨	4
第 2 節	環境との調和への配慮	4
第 4 章	工事及び管理の要領	5
第 5 章	換地計画の要領	5
第 1 節	換地計画樹立の必要性	5
第 2 節	換地計画樹立の基本方針	5
第 3 節	土地改良法第 5 条第 6 項に関する国有地等の編入承認にかかる地積	5
第 4 節	非農用地の換地方法	5
第 6 章	費用の概算	6
第 7 章	効 用	6
第 8 章	他の事業との関係	7
第 9 章	計画概要図	7

第 1 章 目 的

上段：変更後
下段：変更前

本地区は、奥州市江刺の中心部から北東部に位置する中山間地域に広がる水田地帯であり、昭和30年代の猿ヶ石開拓建設事業により整備された受益面積105.0haの区域である。

本地区の用水路は、田瀬ダムを取水源とし、国営猿ヶ石用水農業水利事業北部幹線用水路から分水される支線用水路2路線（新地野用水路、石関用水路）であるが、支線用水路の下流域には住宅が点在しており、近年頻発する集中豪雨等により水路が決壊し、水田への用水供給が遮断されるなど営農上支障となる事態にとどまらず、住宅への浸水により地域住民の生命・財産に被害を及ぼす恐れがある。

よって、本用水路を改修することにより、想定される被害を未然に防止するとともに、農業生産の維持及び農業経営の安定化を目指すものである。

地 区 面 積

(単位：ha)

事 業 名	現況地目	水田	普通畑	樹園地	小計	山林 原野	道路	水路	非農 用地	計	備 考
農村地域防災減災事業 (農業用排水施設)	奥 州 市	103.1 105.0	-	-	103.1 105.0	-	-	-	-	103.1 105.0	
	計	103.1 105.0	-	-	103.1 105.0	-	-	-	-	103.1 105.0	

第 2 章 地域の所在及び現況

第1節 地域の所在

岩手県奥州市江刺梁川、稲瀬

第2節 現 況

第1項 地形及び地質、土壌

本地区は北上川左岸、北上山地の南西部に位置し、地形は中起伏丘陵地で耕地の大部分は丘陵地とその低位部に展開している。標高は99m～200mで、南北に1/15～1/20ほどの比較的急な傾斜地となっている。受益農地の母材は非固結水成岩であり、土壌は次の通りである。

1)	強グライ土壌強粘土斑鉄型	(D-31)	2.8	ha
2)	灰色土壌粘土マンガン型	(F-51)	52.7	ha
3)	黄褐色土壌強粘土型	(I81-2)	3.6	ha
4)	礫層土壌粘土型	(K-96)	29.3	ha
5)	礫質土壌粘土型	(J-91)	16.6	ha
計			103.1 105.0	ha

第2項 気 象

上段：変更後
下段：変更前

(1) 一 般 気 象

(第2表－1)

観測所名	江刺気象観測所	かんがい期	非かんがい期	計又は平均	備 考
観測期間	H25 R4 H15年～H24年	5月～8月	9月～4月		
平 均 気 温		21.2 20.4 ℃	7.1 6.5 ℃	11.8 11.2 ℃	
降 水 量	平 均	549.5 500.1 mm	708.2 666.4 mm	1,258.0 1,166.5 mm	
	基 準 年	〃 604 mm	〃 390 mm	〃 994 mm	国営猿ヶ石農業水利事業 昭和60年（S53年～S62年）
降水日数	平 均	44 45 日	84 95 日	127 139 日	
	基 準 年	〃 52 日	〃 78 日	〃 130 日	国営猿ヶ石農業水利事業 昭和60年（S53年～S62年）
根 雪 期 間		- - 日 間			
無 霜 期 間		〃 〃 〃 23 4 月 30 日 ～ 10 月 24 日			177 178 日 間
最 多 風 向		〃 NW	最大風速	18.5 15.2 m/s	

(岩手県農林水産部農村計画課 計画樹立参考資料 令和 6年3月版)
(岩手県農林水産部農村計画課 計画樹立参考資料 平成26年3月版)

(2) 特 殊 気 象

(第2表－2)

観 測 所 名	第 1 位			第 2 位			第 3 位			第 4 位			第 5 位			備 考
米里気象観測所																
観 測 期 間	数量	年月日(時)	発生確率	数量	年月日(時)	発生確率	数量	年月日(時)	発生確率	数量	年月日(時)	数量	数量	年月日(時)	発生確率	
〃 R 4 M 42 年 ～ H 24 年																
最大日雨量 (mm)	〃 184	〃 S23. 9. 16	・ ・ 1/750	〃 139	〃 S43. 8. 11	1/112 1/83	〃 135	〃 H2. 11. 4	1/89 1/68	〃 130	〃 S62. 8. 17	1/67 1/52	〃 115	〃 S23. 10. 5	1/28 1/24	〃 R4 M42～H24
最大時間雨量 (mm)	〃 48. 5	〃 H20. 7. 28(15)	1/46 1/70	48 46	H30. 8. 15(18) H2. 11. 4(22)	1/44 1/52	46 45	H2. 11. 4(22) S37. 8. 27(3)	1/35 1/46	45 39	R4. 7. 4(18) S30. 9. 6(22)	1/31 1/21	45 36	S37. 8. 27(3) H22. 8. 4(20)	1/31 1/14	〃 R4 S29～H24
最大4時間雨量 (mm)	〃 91	〃 H2. 11. 4(23)	1/244 1/152	〃 75	〃 H20. 7. 28(17)	1/45 1/38	〃 74. 5	〃 H20. 7. 28(18)	1/42 1/36	〃 74. 5	〃 H20. 7. 28(16)	1/42 1/36	〃 74	〃 S47. 8. 3(4)	1/40 1/34	〃 R4 S29～H24
最大3日連続雨量 (mm)	〃 251	〃 T9. 8. 10	1/541 1/634	〃 217	〃 S23. 10. 6	1/162 1/184	〃 210	〃 S23. 10. 5	1/126 1/142	〃 209	〃 H10. 8. 31	1/122 1/137	〃 194	〃 S23. 9. 16	1/70 1/78	〃 R4 M42～H24
最大連続旱天日数 (日)	〃 41	〃 S59. 7. 17	〃 ・ ・	〃 38	〃 S3. 7. 18	〃 ・ ・	〃 37	〃 S18. 6. 30	・ ・ 1/788	〃 31	〃 S39. 7. 20	1/56 1/46	〃 29	〃 H11. 7. 26	1/25 1/22	〃 R4 M42～H24

(岩手県農林水産部農村計画課 計画樹立参考資料 令和 6年3月版)
(岩手県農林水産部農村計画課 計画樹立参考資料 平成26年3月版)

上段：変更後
下段：変更前

"

戸 数		項 目	専 業	第一種 兼 業	第二種 兼 業	計	経営 耕地 地面積	一戸 当り 平均	田	普通畑	その他	計	地域指定等
専 業 別	奥 州 市	戸 数 (戸)	1,851	807	5,133	7,791			1.94	0.11	0.14	2.19	山振S44 農振S44
			1,861	1,377	6,210	9,448	1.61 ha	0.22 ha	0.04 ha	1.87 ha	過疎H2 大豆S52		
		割 合 (%)	23.8	10.3	65.9	100.0	88.6	5.0	6.4	100.0	果樹H2 野菜H6		
			19.7	14.6	65.7	100.0	85.8 %	11.9 %	2.3 %	100.0 %	酪農・肉用牛H9		

(H27農林業センサス)
(H22農林業センサス)

”

また、地域内には、「環境省レッドリスト」及び「いわてレッドデータブック」に登載されている希少種及び希少種の食餌動植物等生育・生息に不可欠な種、良好な環境の指標となる種の生育・生息が確認されている。

”

– 3 –

第 3 章 基 本 計 画

第1節 計 画 の 要 旨

本事業は、国営猿ヶ石用水農業水利事業北部幹線用水路から分水される支線用水路 2 路線（新地野用水路・石関用水路）を改修整備することにより、水路の決壊による被害を未然に防止し、農業生産の維持及び農業経営の安定化を目指すものである。

計 画 事 業 量 一 覧 表

種 別	事 業 量	摘 要
用 排 水 施 設	5,845 m	
用 水 路 工	5,845 m	①新地野用水路 L=2,704m VU φ 300mm、φ 500mm (パイプライン方式) 分土工 10箇所 ②石関用水路 L=3,141m VU φ 450mm (パイプライン方式) 分土工 3箇所
仮 設 工	1 式	仮設道路、既設水路取壊し

第2節 環 境 と の 調 和 へ の 配 慮

多様な動植物が存在する豊かな自然環境や周辺人家の住環境に配慮するため、下記のとおり配慮する。

- ① 施工時期は、猛禽類の繁殖期を回避するなど、専門家の意見を踏まえて設定する。
- ② 施工時は、施工機械の騒音や振動の抑制に配慮する。
- ③ 希少動植物の生育箇所が工事により改変される場合、同様な生育環境を有する場所に移動・移植する。

第 4 章 工事及び管理の要領

//

1. 工事は、県営の請負工事により施工し、完了後の施設管理は江刺猿ヶ石土地改良区が行う。
平成 27 年度～令和 11 年度
2. 工期は、平成 27 年度～令和 5 年度とする。

第 5 章 換地計画の要領

//

第 1 節 換地計画樹立の必要性 該当なし

第 2 節 換地計画樹立の基本方針

//

第 1 項 従前地の地積の基準 該当なし

換地区分	地 籍 の 基 準

//

第 2 項 農用地集団化の方法 該当なし

区 分 換地区名	地帯別、グループ別 団 地 の 設 定	個 人 別 換 地 の 方 法			
		位置の選択方法	一戸当り目標団地数	区画畦畔の取扱い	集団化率

//

第 3 項 清算の方法 該当なし

//

第 3 節 土地改良法第 5 条第 6 項に規定する国有地等の編入承認にかかる地積 該当なし

//

第 4 節 非農用地の換地方法 該当なし

第 6 章 費用の概算

上段：変更後
下段：変更前

(単位:千円)

項 目		負 担 予 定 額				
		工 事 費	率(%)	地 方 事 務 費	率(%)	計
事 業 費		635,000	〃			635,000
		522,000	100			522,000
負 担 区 分	国	349,250	〃			349,250
		287,100	55			287,100
	県	222,250	〃			222,250
		182,700	35			182,700
元	奥州市	50,800	〃			50,800
		41,760	8			41,760
分	農家	12,700	〃			12,700
		10,440	2			10,440

第 7 章 効 用

区 分 \ 項 目	年 総 効 果 (便益) 額 (千円)	年 総 増 加 所 得 額 (千円)	備 考
作 物 生 産 効 果	45,328 33,385	48,796 40,096	
営農経費節減効果	△ 6,756 △ 5,808		
維持管理費節減効果	△ 623 △ 496	447 355	
災 害 防 止 効 果	840 332	840 332	(農業関係資産)
災 害 防 止 効 果	1,836 991		(一般資産)
国産農産物安定供給	9,570 4,453		
			1,699,448
			総便益額 853,143 千円
計	50,195 32,857	50,083 40,783	総費用 1.52 総便益比 1.09 > 1.00

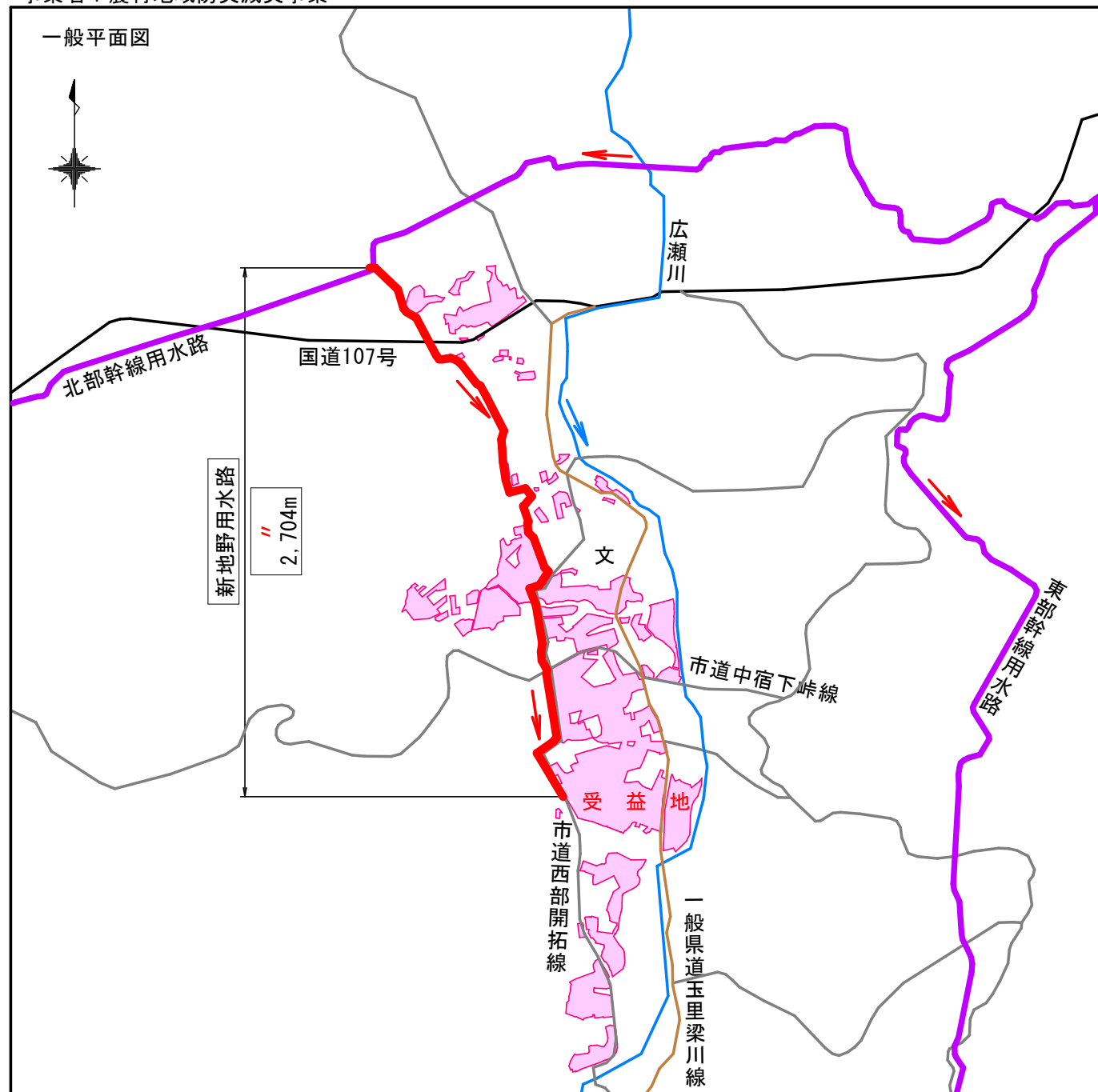
上段：変更後
下段：変更前

第 8 章 他の事業との関係

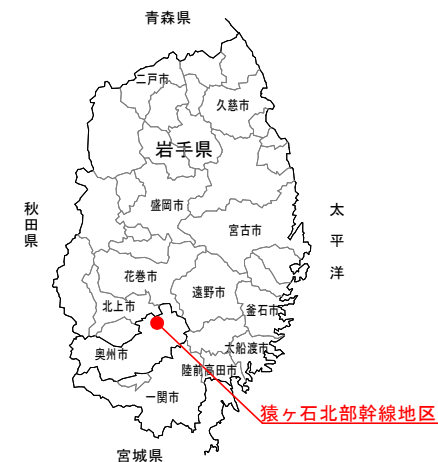
事業名	地区名	事業主体	工期	受益面積(ha)	事業費(千円)	本事業との関連
国営猿ヶ石開拓建設事業 (開墾建設附帯事業)	新地野	農林水産省	昭和40年	60	10,755	L=2,191m
同上	石関	農林水産省	昭和44年	40	1,570	※L=494m
国営猿ヶ石用水農業水利事業	(猿ヶ石用水)	農林水産省	平成4年～ 平成13年	3,920	(百万円) 16,206	北部幹線用水路 (A=1,970ha) L=21.6km
県営農地整備事業 (経営体育成型)	梁川西部	岩手県	平成27年～ 令和3年	33.3	771,000	新地野用水路受益地の区画整理等

第 9 章 計画概要図

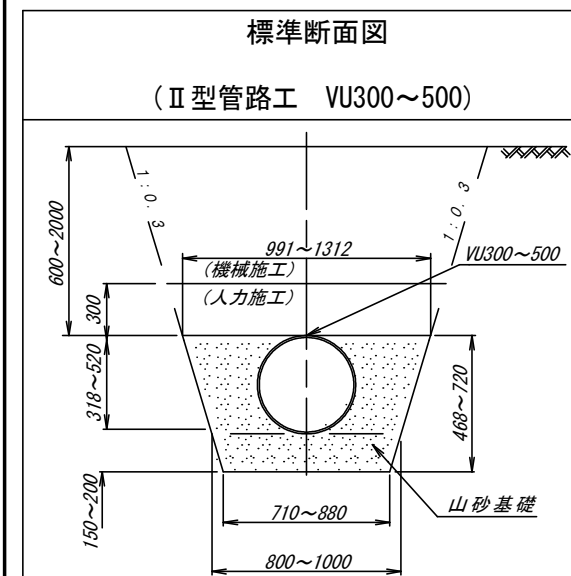
別 添

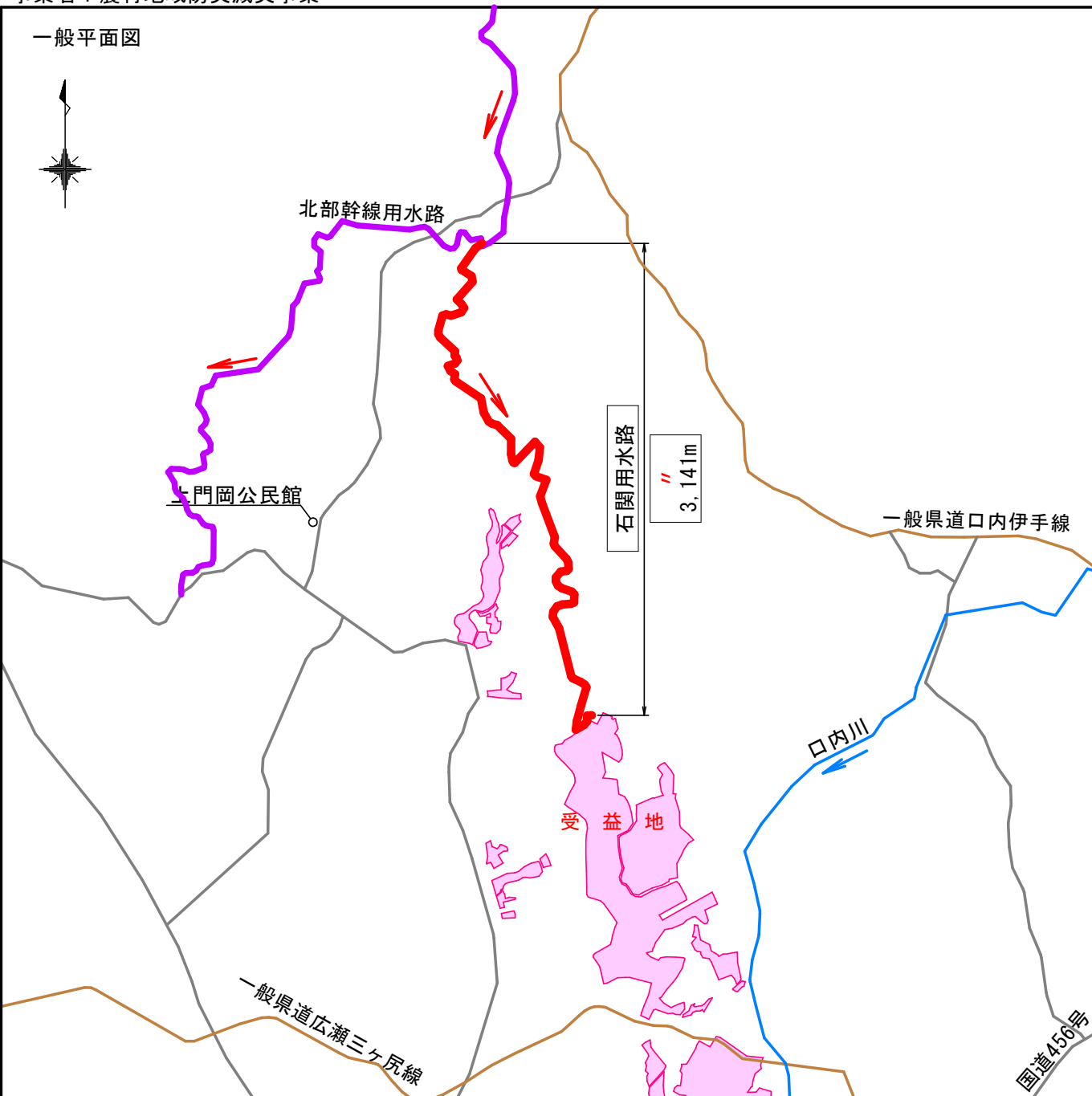


位置図

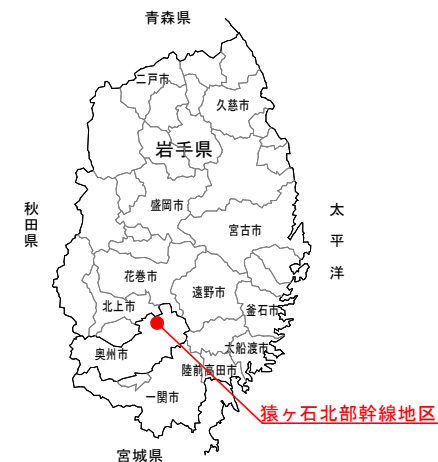


標準断面図





位置図



標準断面図

